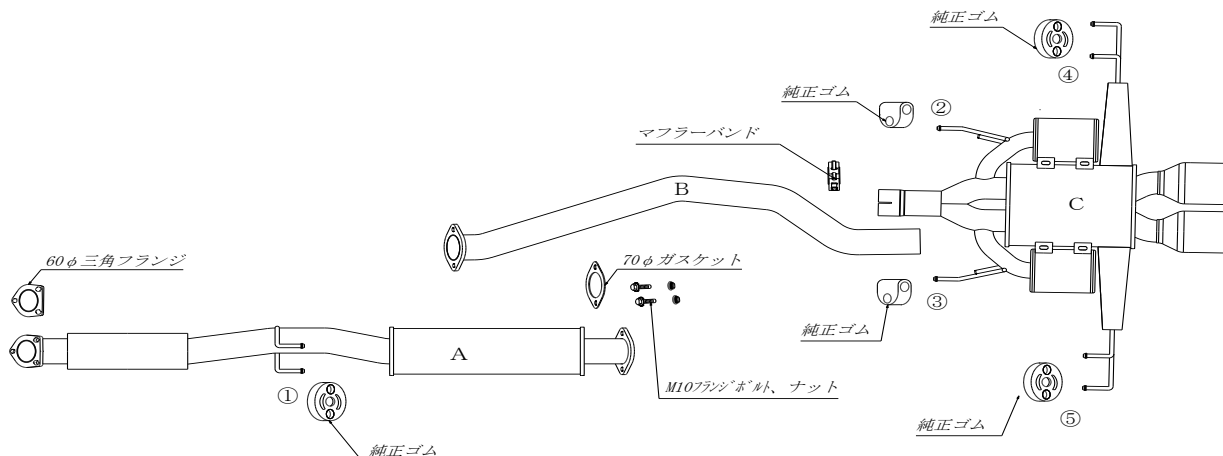


SP500

新規制対応

製品番号	製品名	車 名	通称名	車 両 型 式	エンジン型式	構成部品及び付属品リスト	
SP3006-N	SPECIAL	ホンダ	シビック TYPE-R	6BA-FL5	K20Ct	品 名	数 量
						本体(A)	1
						本体(B)	1
						本体(C)	1
						60φ三角	1
						70φガスケット	3
						M10フランジボルト	2
						M10フランジナット	2
						マフラーバンド	1
						本取扱説明書	1



☆ご注意ください。
記載の適合型式以外への取付は、新規制対象外になります。

組付作業手順

警告！

装着作業は専門の整備工場などに依頼してください。
【(1)ご使用の前に】を十分に理解した上で作業を実施してください。
※装着作業は必ず2名以上で行なってください。
※文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味

作業中の怪我・火傷

1. 「本体Aの取り付け」

最初にAパイプの前側のフランジを純正ボルトにて、フロントパイプ側のフランジとAパイプの間に60φ三角ガスケットを挟み仮締結して下さい。本体Aの取り付けステー①を純正ゴムにしっかりと差し込み、周りの干渉物のクリアランスを確認し、規定トルクにて締結して下さい。

2. 「本体Bの取り付け」

本体Aと本体Bの間に70φガスケットを挟み、付属M10フランジボルト、ナットにて仮締結して下さい。本体C側に付属マフラーバンドを差し込み

3. 「本体Cの取り付け」

本体C側に付属マフラーバンドを差し込み、本体Bに本体Cを差し込みます。
先に差し込んでいる、付属マフラーバンドを本体Cの差し込み口先端で合わせて仮締結します。

4. 「全体の組みつけ」

各分割の仮組みつけが完了したら、フロント側より、車体とのクリアランス、接合部のズレに注意しながら、M10フランジボルト、ナットを規定トルクにて本締結していきます。
差し込みジョイント部マフラーバンドも本締結します。

※ テールパイプと自動車のバンパーの位置関係、クリアランスを確認して下さい。
不具合がある場合は最初から締め直して下さい。クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパーなどが熱で溶けたりすることがあります。

5. 「装着状態の確認」

全体の本組付けが完了したら、もう一度マフラーを手で揺すって各部のクリアランスを確認して下さい。エンジンを始動して暖機し、約2500回転にして各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検して下さい。運転して再度、各フランジからの排気漏れ、又は各部の異常音を点検して下さい。異常があれば、最初から装着をやり直して下さい。
《異常があれば、面倒でも最初からやり直して下さい。》

お願い！

装着後200～300km走行した後にもう一度各部のボルト類の増し締めと、各フランジ間のガス漏れの点検をして下さい。